

算定様式（C様式）の作りかた

算定様式（C様式）とは

燃原料の含有硫黄分が、製品などに吸収または残留する場合に使用する様式です。
「装入した燃原料」と、そこから「産出した製品」それぞれの量および含有硫黄分を把握することにより「装入側硫黄量」および「産出側硫黄量」を計算し、「装入側硫黄量」から「産出側硫黄量」を引いてSOx排出量を求めます。

この様式は、原則として事業場ごとではなく、施設ごとに作成してください。

● ■ 1つの事業場で複数の施設の算定を行う場合は、施設の数だけExcel雛型ファイルをコピーし、施設ごとに作成してください。他の様式とは異なり、1つのファイルで複数の施設の算定を行うことはできません。

- **脱硫装置（排煙脱硫または集じん等脱硫）を使用し、脱硫効率を適用する場合は**
→E様式も作成し、提出してください。（46ページ）
- **同じ月に、密度や含有硫黄分の異なる燃原料を使用した場合は**
→それぞれの成績表などの数値を使用して加重平均した値を入力してください。
また、その場合**加重平均一覧表**を作成し、提出してください。（39ページ）

① 賦課金番号

- 申告書に入力されている汚染負荷量賦課金
番号を入力してください。

②施設名

- 「キルン」など対象となる施設の名称を入力してください。

申告書に入力した納付義務者名、工場・事業場名を入力してください。

(Sバランスにより求める場合)

平成XX年度汚染負荷量賦課金

年間排出量の算定の過程を示す書類 (C)

①賦課金番号
03586011

工場・事業場名
(株) 堅井セメント 小諸工場

②施設名
1号セメント焼成キルン

③No.
C- 01 - 01 現枚数
04 全枚数

④脱硫の種類

☐ 排煙脱硫
☐ 集じん等脱硫

⑥年月 XX年	⑦燃原料の種類 名称	⑧コード	⑨装入量	⑩単位	⑪密度 g/cm ³	⑫含有硫黄分 %	⑬硫黄量(1) Kg	⑭製品等 の種類 名称	⑮産出量 kg	⑯含有硫 黄分 %	⑰硫黄量(2) Kg	⑱補正後の 脱硫効率 %	⑲SO _x 排出量 m ³ N
	1 石灰石	84	164,026,891	kg ▼		0.006	9,841	ケリンカー	125,701,633	0.240	301,683		
	1 粘土	84	27,991,830	kg ▼		0.444	124,283						
	1 珪石	84	8,109,766	kg ▼		0.013	1,054						
	1 鉄原料	84	4,708,905	kg ▼		0.328	15,445						
	1 C重油	05	12,067,356	L ▼	0.944	2.390	272,258						
	小計						422,881				301,683		84,838.6
				kg ▼									
				kg ▼									
				kg ▼					199,962,479	0.239	334,510		
				kg ▼									
				kg ▼									
				kg ▼									

入力チェック

算定様式の追加

算定様式の削除

小計作成

合計作成

取り消し

印刷

エクセル保存

前年度データ複写

入力行の挿入

入力行の削除

小計再計算

終了

C様式_4

C様式_3

C様式_2

C様式_1

+

:

◀

作成時の留意点

Excel雛型ファイルに入力する際の留意点

- Excel 雛型ファイルの黄色で塗られた項目（セル）が、入力していただきたい箇所です。
- 数字は、半角で入力してください。
- 数字のカンマ（,）は、自動で表示されます。（例：「1234567」と入力すると、「1,234,567」と表示されます。）
- 各セルの右上の「」マークにマウスポインターを移動させると、入力の際の留意点を表示します。

例： 年間排出量の算定の過程を示す書類（C）

工場・事業場名	工場・事業場名は、半角 100 (または、全角 50)文字以下で 入力して下さい。	②施設名
---------	---	------

Excel雛型ファイルの入力が全て完了したら

- 保存する前に、必ず**入力チェック**をクリックして、入力にもれや誤りがないかを確認してください。(28ページ)
- 🌐 入力チェックが完了していないExcel雛型ファイルをオンライン申告システムからアップロードしようとすると、エラーになり、送信できません。

用紙申告する際の留意点

- 3枚1組の複写式となっていますので、ボールペンではっきり記入してください。
- C様式が不足する場合は、商工会議所か機関に連絡し、入手してください。

③ ナンバー
No.

- 施設の通し番号と、施設ごとの全使用枚数・通し番号です。
下記の例では、施設「01」で使用する、全4枚のうちの1枚目であることを表します。

施設の通し番号 **施設ごとの通し番号**

③ No. C- 01 - 01 現枚数
 04 全枚数

施設ごとの全使用枚数

- Excel雛型ファイルでワークシートを追加するごとに、自動的に施設ごとの通し番号および使用枚数が付与されます。
- 「施設の通し番号」は、手動で入力してください。

④ 脱硫の種類

- 排煙脱硫・集じん等脱硫を行っている場合は、該当する項目を選択してください。(複数選択可)
- 製品等脱硫のみの場合は、何も選択しないでください。

■ 入力のしかたは、26ページをご覧ください。

🌐📖 操作のしかたは、28ページをご覧ください。

算定様式（C様式）の作りかた

小計

- SOx 排出量の算定は、必ず月別に小計欄を設けてください。（小計作成のしかたは、29ページをご覧ください。）
なお、月の途中で次の様式（ワークシート）にまたがって入力しても差し支えありません。
- ㊦ 月の間を太い線で区切る、1行あけるなどして、月ごとの区別が明確になるようにしてください。（右記参照）
- ㊦ 月内の「㉔硫黄量(1)」「㉔硫黄量(2)」「㉔SOx排出量」を合計し、それぞれ入力してください。
- 排煙脱硫や集じん等脱硫がある場合は、「㉔補正後の脱硫効率」も入力してください。（27ページ）

例：
月の間を
太い線で
区切る

1月	鉄原料	814
	C重油	015
小計		
2月	石灰石	814
	粘土	814

㉔ 年月

- 月の数字を入力してください。（例：1月→「1」と入力する）

㉔ 燃原料の種別

- 燃原料の具体的な名称（例：セメント原料の場合は、「石灰石」「粘土」「鉱さい」など）を入力してください。
- コード欄には、燃原料コード表（73ページ）から該当する番号を選び、入力してください。
（例：セメント原料の場合は、全て「窯業・土石原料」＝「コード84」となります）

㉔ 装入量

- 「㉔燃原料の種別」に入力した燃原料のそれぞれの装入量（使用量）を月別に整理して小数点以下の端数を切り捨てた整数値を入力してください。
使用する燃原料に応じて、該当する単位を選択してください。（kg または t は使用しないでください）
液体の場合：ℓ、kg 固体の場合：kg 気体の場合：m³、kg

㉔ 密度 (g/cm³) ※

- 燃原料購入先の成績表などの数値を利用して、小数点以下4けた目を切り捨て、3けたまでの数値を入力してください。

※「密度」「含有硫黄分」計算時の留意点

- 自社測定によらざるを得ない場合は、理由・測定方法・測定者・測定データを明記した書類を添付してください。
- 同じ月に密度や含有硫黄分が異なる燃原料を使用した場合は、それぞれの成績表などの数値を使用して加重平均した値を入力してください。また、その場合加重平均一覧表を作成し、添付してください。（39ページ）

㉔ 含有硫黄分 (%) ※

- 原料の含有硫黄分については小数点以下4けた目を切り捨て、3けたまでの数値を入力してください。
- 燃料の含有硫黄分については燃料購入先の成績表などの数値を利用して、小数点以下3けた目を切り捨て、2けたまでの数値を入力してください。
- 硫黄化合物分析値については、含有硫黄分 (%) に表示できるように換算してください。（30ページ）
- 燃原料の硫黄分が硫黄化合物の場合は、含有硫黄分 (%) に換算してください。（30ページ）
- 硫黄分の分析データが無い場合は、標準的硫黄分一覧（73ページ）の数値を使用してください。
- 含有硫黄分の単位は、それぞれ下記のとおりです。
液体の場合 (ℓ)：質量% 固体の場合 (kg)：質量% 気体の場合 (m³)：容量% (% vol)

㉔ 硫黄量(1)(kg)

- 硫黄量(1)を算定してください。（計算のしかたは、30ページをご覧ください。）
㉔㉔㉔㉔㉔を入力すると、自動的に計算されます。

㉔ 製品等の種別

- 燃原料の含有硫黄分が吸収または残留する製品など（例：鉄鋼、セメントクリンカー、ガラス、スラグなど）の名称を、具体的に入力してください。

㉔ 産出量

- 製品などのそれぞれの産出量を月別に整理して小数点以下の端数を切り捨てた整数値を入力してください（単位：kg）。なお、産出量の把握は、装入量の把握方法とバランスのとれた方法で行ってください。

㉔ 含有硫黄分 (%) ※

- 製品などの含有硫黄分を小数点以下4けた目を切り捨て、3けたまでの数値にして入力してください。
- その他の計算時の留意点は、「㉔含有硫黄分 (%)」と同様です。

㉔ 硫黄量(2) (kg)

- 硫黄量(2)を算定してください。（計算のしかたは、30ページをご覧ください。）
㉔㉔㉔㉔㉔を入力すると、自動的に計算されます。

㉔ 補正後の脱硫効率 (%)

- 排煙脱硫や集じん等脱硫がある場合は、E様式を作成し、E様式中の「2. (4) ㉔補正後の脱硫効率」の数値を小計欄に入力してください。（49, 51, 53 ページ）
- この欄には、
$$\text{製品等脱硫効率} = \left\{ \frac{\text{硫黄量(2)}}{\text{硫黄量(1)}} \times 100 \right\}$$
を入力する必要はありません。

㉔ SOx 排出量 (m³)

- 月別に求めた「㉔硫黄量(1)」および「㉔硫黄量(2)」の値から算定し、小計欄に小数点以下2けた目を切り捨て、1けたまでの数値を入力してください。（計算のしかたは、30ページをご覧ください。）
㉔㉔月ごとの小計欄を作成すると、自動的に計算されます。

合計 [年間SOx排出量 (m³)]

- 最終月の小計欄の下（最下行）に年間の合計欄を設けてください。（合計作成のしかたは、29ページをご覧ください。）
- 1月～12月の「㉔硫黄量(1)」「㉔硫黄量(2)」「㉔SOx排出量」について、それぞれ年間の合計値を入力してください。
㉔㉔各月の数値を入力すると、自動的に計算されます。

(S バランスにより求める場合)

平成XX年度汚染負荷量賦課金

年間排出量の算定の過程を示す書類 (C)

① 賦課金番号

03586011

工場・事業場名

(株) 堅井セメント 小諸工場

② 施設名

1号セメント焼成キルン

③ No.

C-01-01 現枚数

04 全枚数

④ 脱硫の種類

☐ 排煙脱硫
☐ 集じん等脱硫

⑤ 年月	⑥ 燃原料の種別	⑦ 装入量	単位	⑧ 密度	⑨ 含有硫黄分	⑩ 硫黄量(1)	⑪ 製品等の種別	⑫ 産出量	⑬ 含有硫黄分	⑭ 硫黄量(2)	⑮ 補正後の脱硫効率	⑯ SOx 排出量
XX年	名称	コード		g/cm3	%	Kg	名称	kg	%	Kg	%	m3N
	1 石灰石	84	164,026,891	kg	▼	0.008	9,841	クリンカー	125,701,633	0.240	301,683	
	1 粘土	84	27,991,830	kg	▼	0.444	124,283					
	1 珪石	84	8,109,766	kg	▼	0.013	1,054					
	1 鉄原料	84	4,708,905	kg	▼	0.328	15,445					
	1 C重油	05	19,087,358	ℓ	▼	0.944	9,300					
	小計			▼		422,881				301,683		84,838.6
	12 石灰石	84	182,635,737	kg	▼	0.005	9,131	クリンカー	139,962,479	0.239	324,910	
	12 粘土	84	31,167,502	kg	▼	0.476	148,357					
	12 珪石	84	9,029,818	kg	▼	0.015	1,354					
	12 鉄原料	84	5,243,130	kg	▼	0.272	14,261					
	12 C重油	05	13,436,397	ℓ	▼	0.943	2,410					
	小計			▼		478,462				334,510		100,766.4
	合計			▼		5,272,856				3,721,728		10,857,896.0